

このキャンプに興味をお持ちになられた保護者の方々へ

昨夏は兵庫県から迎えた指導者の森本崇資さんに「満たさない」をテーマにキャンプをして頂きました。今年は森本さんのテーマを引き継ぎ、高野の山のプロフェッショナルが指導します。

森本さんの言葉から抜粋

「日本のこどもは満たされすぎている」
残念なことに、満たされるということは、欲が止まらないということです。
満たされない環境に子どもたちを置くことで、
そこには、工夫が生まれ、協力が生まれ、そして我慢が生まれます。

キャンプは大人数での集団生活です。
「いじめもある」「ものがなくなることもある」「けんかもする」
そして「病気にもなる」「怪我もする」
そんなこともぜんぶひっくるめて「キャンプ」です。

思いっきり子どもたちの命を輝かせてやりたい、と思っています。
それに必要なのは「そういう趣旨をしっかりと許容できる保護者の理解」です。

キャンプ参加者の声

- ・ 満たさないことも、また満たすことなんだと気がつけてスッキリしています。私の中では大きい気づきでした。
- ・ 大人の武者修行♪ いえ無者（無になる者）修行、大人が変われば子どもは変わるではなく、大人が変われば子どもたち本来の元々の良さがにじみ出るんだと感じ入りました。
- ・ 勉強になったのは親の方かもしれません。目先の成功ではなく、失敗させる難しさを...それは、これからの新しい教育観と同じかもしれません。
- ・ 待つ・満たさない・失敗出来る普段使いの場作り。試行錯誤でき挑戦できる舞台をころがす・そして大人も楽しみまくる
- ・ 子どもがお客様扱いされない、親は手助け出来ない条件でのチャレンジ Camp!
- ・ 手出し口出して、結局は私のためにしてたんだなあってふと思いました。だって、バタバタ時間かけて疲れるのは私が嫌だから。ちゃっちゃとしてゆっくりしたいのは、私なんですよね。そのために子供から奪っている機会も多いですね。どこまで「待つ、見守る」を増やせるか、ぼちぼちやってみようと思います。
- ・ 子供の力、未来を信じて、手を出すではなく、森本さんのように愛をもって見守りたいと思います。
- ・ 帰宅後息子の夏休みの課題に本読みとかお手伝いとかしたら○をつける表にキャンプの日はお手伝いが×になっていて、「お風呂を沸かしたり、一杯お手伝いしたやん？」と私がいったら、「あれは、自分のため(自分がしたいから)したからお手伝いではない」と誇らしげにいった姿がかっこよかったです。